

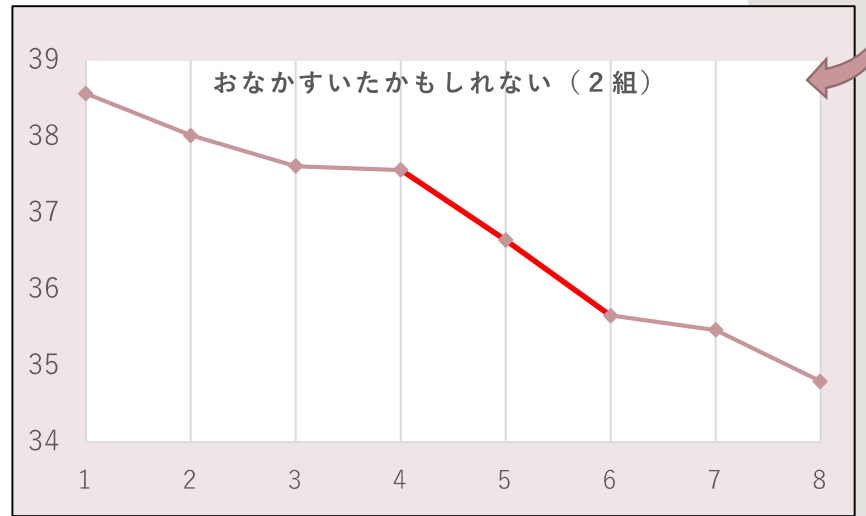
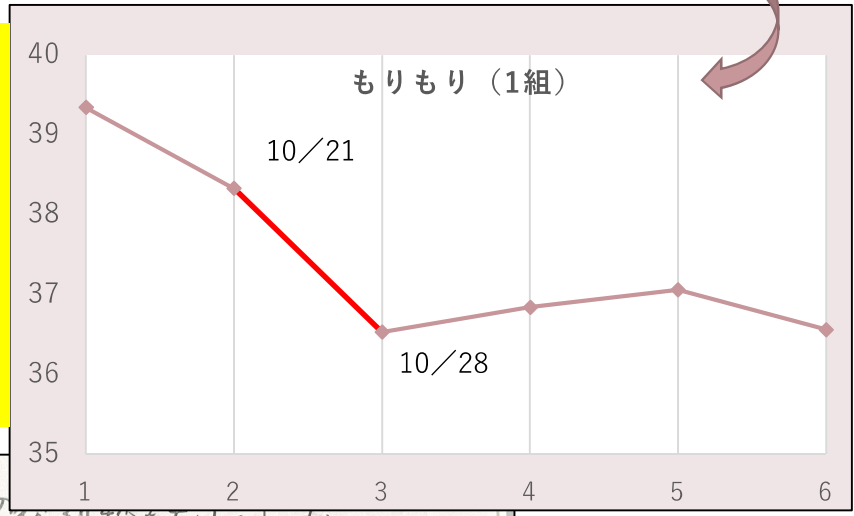
# 活動から学んだこと ー子どものふり返りよりー

## ① 経験とデータを関連付けること

4回目から6回目のあたりがすごくタイムが速くなって  
いる。→和氣先生や倉次先生のフクロ選手のバトンパス  
動画を見たときあたり。  
 そして、私たちはバトンパスをするときにバトンをおたされる  
 側を最高速度までに持っていくようにしているけど、  
 また80~90%のところバトンをおたしてしまっている。  
 だから、最高で34.72秒をめざす!

10/21、2/28 の差が 2秒ちかま、ている。36.53秒は他チームと競走走の選手  
出した時、チームの走る川原番も、大きくかえていた。  
 1/28からは、タイムがのびた。なにか、何か良くて何か悪かったのか。  
 ふり返らなからたかうたと思。皆、あまり練習不足でなく、4組男子は

データやグラフと、実際の取り組みを関連付けて振り返っている。データから傾向を読み取ることで、いつの何に注目すればよいか見当をつけ、振り返りを見直している



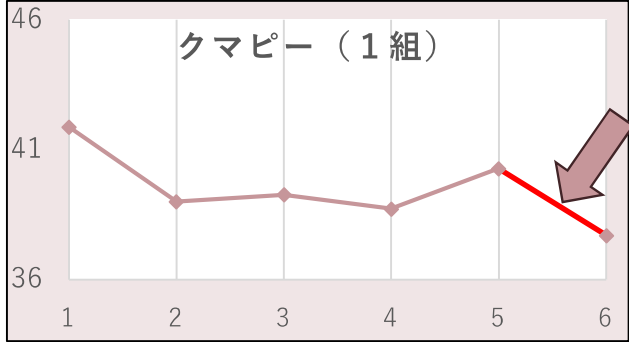
① 最新は、39秒だ、たけいその39秒をたしてない。  
 ・9月30日から、10月21日まで、ほとんどベストをこらしている  
 が、それがさあっている。  
 ・10月21日は、バトンパスがうまくいって、その前がバトンの走川原が  
 ② クラス全体のデータから言えること (他チーム、全体の傾向など) かきかえていた。  
 おなかすいたかもしれない

経験とデータを関連付けることで、リレーのタイムを縮めるために必要な要素は何かを特定したり気づいたりすることができる

# 活動から学んだこと ー子どものふり返りよりー

## ② 全体を俯瞰すること(傾向を読み取る) / 表やグラフのよさ

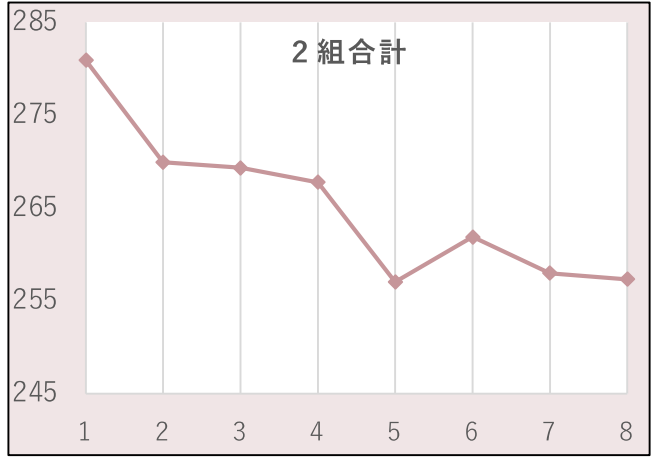
チーム内のバント・パスなどいろんな練習構成を少しずつ変えてくると、なるほど、バントがぐんとちがってくる。最後は平均から36秒段までちがった。(クマピーが良し、1列)



このクラスで一番早いチームは、毎番バンバン・Roundersと、6回目のタイムは、Roundersの方が速いけれど、平均と、その他のタイムが毎番バンバンだから、毎番バンバンの方が速い。こうして表で見るとたて、横で比べられるから見やすい。横で見ると、どのチームも、1回目と5回目では、約1秒の変化が見えて、約1秒タイムが速くなっていることが分かる。ファミチキは、約2秒少ほど速くなっていることが分かる。

データやグラフの一部ではなく、全体を捉えた時の傾向や、全体で見るから明らかになる特徴について考察している。

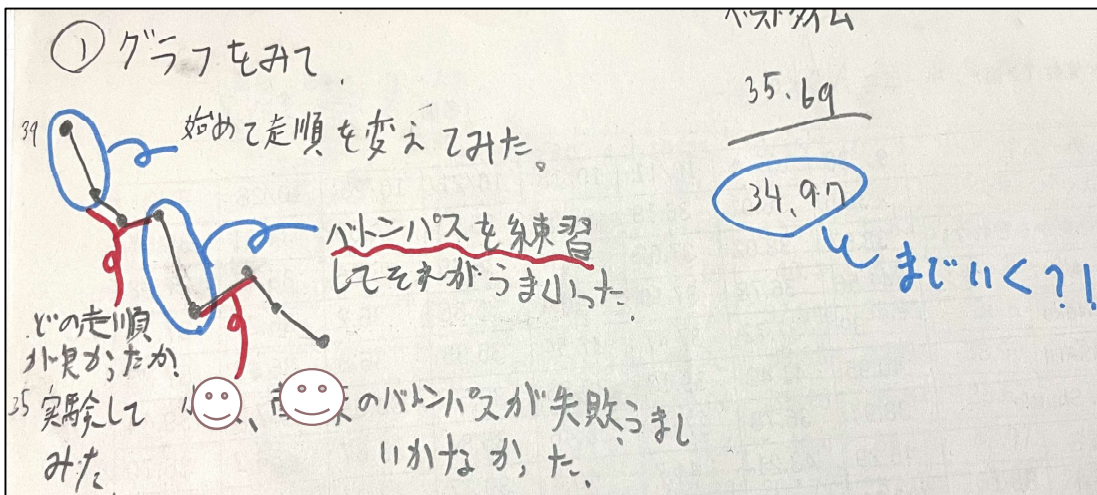
表やグラフに表すよさに直接言及する振り返りも見られた。併せて、他チームのデータと比較するよさにも触れている。



時間(速さ)は短いけれども、全体でみたらかなり速くなって(時間、タイムが短くなって)いる。10/21~10/25の間は1秒もちがっている。このときはバント・パスのやり方を少し変えたときくらい。クラス全体のデータから言えること(他チーム、全体の傾向など) 全チーム、回が進むごとにタイムがちがっている。どのチームも、10/18~10/21の間が1番タイムがちがっている時。たぶん、このときはオリンピックに出ているアオのリー選手のバント・パスのやり方を見たときだったと思う。

# 活動から学んだこと -子どものふり返りより-

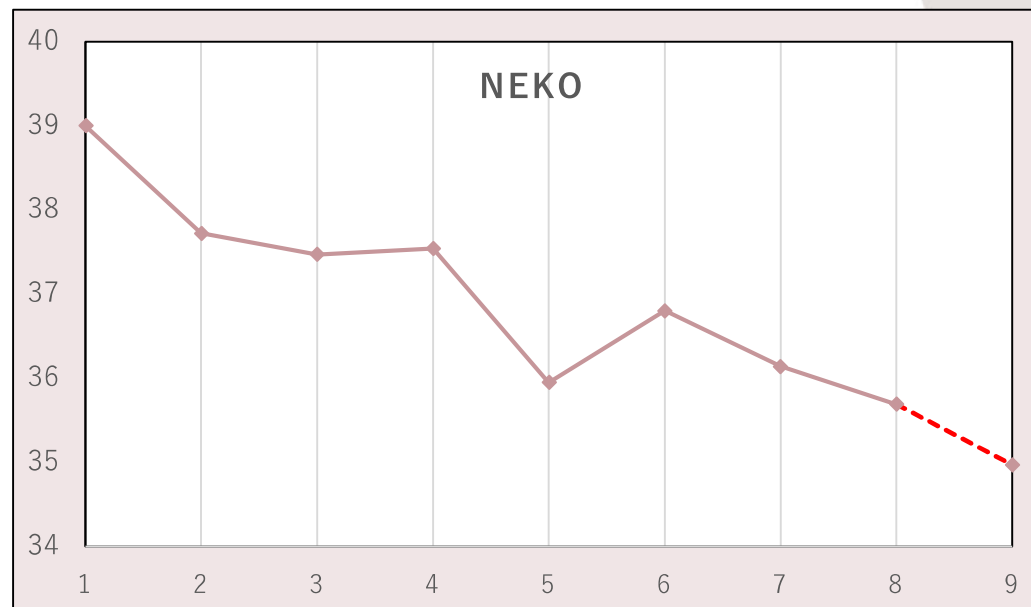
## ② 全体を俯瞰すること(傾向を読み取る)/表やグラフのよさ



① 白のチームについてデータから言えること

~~うちのチームは何回もこうしんを少しあじって~~  
~~子がうまくなつてうちのチームはめつていっている。~~  
~~そしておん習と体けいにかいたつて本番大く~~  
~~体力をつかえ~~

グラフから傾向を読み取ることで、「もし9回目があったら」を予想するチームもあった。34.97の数字的な根拠は不明だが、グラフにしてみると凡そ同じペースでタイムが縮むことを想定していると考えられる



# 活動から学んだこと - 子どものふり返りより -



## ③ 次の問いを立てること / 読み取ったことを次に生かすこと

作戦を変えて、その作戦がうまくいくと、タイムが速くなる。10/21~11/11までは、37秒台なので、私達にはその時に立てた作戦はあまり効果がなかったと言える。

グラフを見れば、 $34.8 \rightarrow 34.72$  (34.51) くらい  
10/11、10/18は、少ししか変わりなかった。  
→ 何が良かったのかも  
↓ 走り負か合なかったから改良のために

データ全体を俯瞰したり、経験とデータを往還しながら、次の練習に向けて取り組むべき課題や、効果的な作戦を特定することに言及する振り返りが見られた。タイムの伸び悩みについては、走順やバトンパスの相性が合っていないかもしれないと仮定し、改良に向けて考える様子が見受けられる。

9/29~10/28は、1秒ずつ、タイムが速くなっていくけど、11/7は、1秒タイムが速くなるとして、たぶんこれはバトンの渡し方に問題があったと思う。(たぶん走る速さは落ちていたから。)

そうすると、タイムの速い4人が、さんに渡すもしくはその逆の方がいいのか? でも、最初と最後に速くした方が、1. 気持ちです... 11/11、11/17で、タイムをこうしてできた! これは4.3 さん、4にしたら良かった。やはり、タイムが速いから近い人へバトンを渡すと、バトンパスが速くなって、タイムも速くなった。